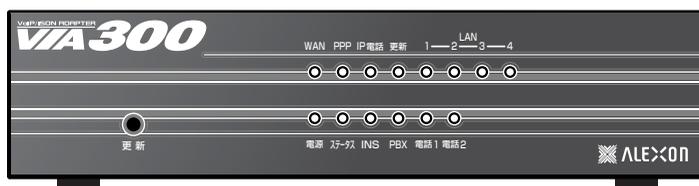


# VIA 300

## 取扱説明書



# 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解のうえ、正しくご使用ください。

## ■絵表示の説明

表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **危険**：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される場合。
- ⚠ **警告**：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合か、軽傷または、物的損害\*が発生する頻度が高い場合。
- ⚠ **注意**：取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険性が想定される場合、ならびに物的損害\*のみの発生が想定される場合。

\*物的損害とは、家屋家財及び家畜ペットに関わる拡大損害を示しています。

## ■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。



△マークは、危険、警告を含む「注意」を示しています。

左図の例は、「特定しない一般的な注意、警告、危険の通告」を示しています。



⊘ マークは、してはいけない「禁止」を示しています。

左図の例は、「分解禁止」を示しています。



●マークは、必ず実行していただく「強制」や「指示」を示しています。

左図の例は、「差込プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

## 輸出する際の注意事項

**注意** 本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内向けの製品です。海外の規格などには準拠しておりません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。あらかじめご了承ください。

This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## ご注意

(1) 本書及び本製品の内容の一部又は全部を無断で複写、複製することを禁じます。

(2) 本書及び本製品の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書及び本製品は内容について万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら、ご連絡ください。

(4) 本製品（ハードウェア、ソフトウェア及び関連文書）を運用した結果については、(3)項に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

(5) 本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電時の外部要因によって異常な課金が発生したり、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純正経済損失につきましては、いっさいその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

(6) 設定値を保存中に停電が発生した場合など、設定データが異常になることが有ります。その場合は再起動時に全ての設定値を初期化しますので、再度設定をやり直してください。

● INS ネット 64 は NTT の商標です。

● Windows95/98/Me/2000/XP、Internet Explorer は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。

## 警告

	● 万一異常が発生したら、すぐに電源スイッチをOFFにして電源コードを抜く！ 煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使用しないでください。 火災や感電の原因となります。このようなときには、すぐに電源スイッチをOFFにして電源コードを抜き、お買い上げの販売会社や弊社にお問い合わせください。
	● AC 100V(50または60Hz)以外の電源電圧では使用しない 定格以外の電源電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
	● 異物を入れない 本機に金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。 万一異物が入った場合、すぐに電源スイッチをOFFにして、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。
	● 本機付属以外の電源コードを使用しない 火災や故障の原因となります。
	● 分解したり改造したりしない 本体カバーをはずして内部を触ったり、本機を改造しないでください。 火災や感電、故障の原因となります。 修理の際は、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。
	● 本機の近くに水や飲料などの液体、ヘアースプレーなどの可燃物の入っている容器を置かない 内部に液体や可燃性の強い気体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。
	● 水・薬品がかかからないように 引火・火災や感電の恐れがあります。
	● 電源コードを大切に コードに重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。 コードが損傷します。コードに傷がつくと火災や感電、故障の原因となります。 また、コードを加工したり、無理に曲げたり引っ張ったりすると、火災や感電の原因となります。コードが痛んだ場合には、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。
	● 本機を落したり破損した場合は そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源スイッチをOFFにして、背面のコネクタをすべて抜いて、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。
	● 極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない 本機は一般オフィスや家庭のOA機器と接続する用途の製品として設計されています。幹線通信機器や業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器には、接続しないでください。
	● サービスコンセントは300W以下 本機のサービスコンセントは300W迄です。定格以上の機器を接続すると火災や故障の原因となります。

## 注意

	<ul style="list-style-type: none"><li>●本機は日本国内のみで使用 国外での使用は、電源電圧等の問題により、本機が故障することがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くと電源コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●ぬれた手で電源プラグにさわらない ぬれた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。感電や火災、故障の原因となることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●上にものを置かない 本機の上にものをせないでください。故障の原因となることがあります。また本機の上に乗らないで下さい。倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。特にお客様のいらっしゃる家庭では注意をお願いします。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源プラグとコンセントの定期点検を 電源プラグとコンセントは長時間つないだままですと、ほこりがたまります。そのままの状態で使用を続けると、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回は電源プラグとコンセントの定期的な掃除をし、接触不良などを点検してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●アース端子を接地する 本機は、落雷などの影響を最小限に抑えるための落雷対策を行っていますが、必ず本機のアース端子を使って接地してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●お手入れのときは 本機の本体が汚れた場合は、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください（決して、プラグやコネクタ等の外部機器接続部をこの方法で拭かないでください）。 薬品類（ベンジン・シンナーなど）は使わないでください。変質・変色する場合があります。プラグやコネクタ等の外部機器接続部にほこりがたまった場合は、接続先からはずし、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず、電源スイッチをOFFにして、背面のコネクタをすべて抜いてから行ってください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●本機を長期間使用しないときは 本機を長期間使用にならないときは、電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜き、背面のコネクタを全てはずして保管してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●雷が鳴り始めたら、電源プラグをコンセントから抜く 落雷の恐れのあるときには、ただちに使用をやめ、本機の電源スイッチをOFFにして、電源プラグを抜き、背面のコネクタから接続ケーブルをはずしてください。落雷時に内部に電流が流れ込むと、本機を破壊する恐れがあります。</li></ul>

## 設置に関する注意

- |   |   |
|---|---|
|  | <p>●風通しの悪いところに置かない<br/>本機をラック内など、密閉された場所に置かないでください。また、本機を直接積み重ねて使用するなど、本機の上にものを置いて使用しないでください。<br/>熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。</p>   |
|  | <p>●温度が高くなるところに置かない<br/>直射日光の当たるところや発熱する器具の近くなど高温になるところに置かないでください。熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。</p>   |
|  | <p>●湿気やほこりの多いところに置かない<br/>湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くに置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。</p>  |
|  | <p>●ラジオやテレビなどのすぐ近くに置かない<br/>ラジオやテレビなどのすぐ近くに置きますと受信障害が発生する恐れがあります。</p>   |
|  | <p>●不安定な場所やお子様の手が届くところに置かない<br/>ぐらついた台や本機より面積が小さいものの上や傾いたところ、また衝撃や振動の加わるところなど、不安定な場所やお子様の手が届くところに置かないでください。<br/>落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。</p>                                     |
|  | <p>●指定以外の方法で設置しない<br/>本機指定以外の方法で設置しないでください。<br/>また、布等でくるんだ状態での使用もおやめください。特にビニールやゴム製品が接触している状態での使用もおやめください。火災や故障の原因となることがあります。</p>   |
|  | <p>●本機よりNTT交換機側にアナログ装置を設置しない<br/>ISDN回線上に検針器や警報装置等を設置されているときは、必ず装置の会社もしくは装置を取り付けた会社に連絡を取り適切な処置を行ってください。<br/>装置を取り付けたままでは、本機が正常に動作しなくなることがあります。<br/>また、設置されている装置が完全に動作しなくなります。</p> |
|  | <p>●本機よりNTT交換機側で回線を分配しない<br/>本機よりNTT交換機側で回線を分配すると本機や分配している別の先の装置が正常に動作しなくなることがあります。<br/>ISDN回線には、DSUを1台しか接続できません。</p>   |

## 設置に関する注意



### ● 指定外の接続をしない

指定外の接続をしますと、火災や故障の原因となることがあります。

- ・ クロスのS/T点ケーブルでバス接続しないでください。
- ・ ISDN-S/TコネクタにISDN-S/T端子を持った機器以外を接続しないでください。
- ・ ISDN-UコネクタにISDN回線のU点以外を接続しないでください。
- ・ ISDN-S/Tコネクタに接続した機器にDSUが有る場合は、必ずDSUを切り離してください。
- ・ PBX-UコネクタにDSUを1台しか接続しないでください。
- ・ PBX-UコネクタにISDN機器のU点以外を接続しないでください。
- ・ 電話機をISDN-U・PBX-Uコネクタに接続しないでください。
- ・ サービスコンセント（300W迄）に負荷が大きく変化する機器や負荷が大きい機器を接続しないでください。

## 本機の保証について

### ● 保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、弊社では設置工事・出張修理は行っておりません。

### ● 保証期間を過ぎている場合には

修理によって使用できる場合には、ご希望によって有償で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

# 目次

1	概要	1
2	お客様にご準備して頂くこと	2
3	製品の構成（梱包内容）	2
4	ご利用までの流れ	3
5	各部の名称とはたらき	4
5.1	正面図	4
5.2	背面図	6
6	本機を接続するには	8
6.1	接続に関する注意点	8
6.2	各機器との接続	9
6.3	複数回線収容型のPBXとの接続	10
6.3.1	一般的な接続例	10
6.3.2	PBX経由での接続例	10
6.4	接続後の確認	11
6.4.1	ADSL モデムと本機	11
6.4.2	パソコンと本機	11
6.4.3	ISDN用PBXと本機	11
6.4.4	ISDN回線と本機	11
7	パソコン側を設定するには	12
7.1	Windows95/98/Meの場合	12
7.2	Windows2000の場合	15
7.3	WindowsXPの場合（カテゴリ表示の場合）	17
7.4	インターネットオプションの設定	19
8	本機を設定するには	21
8.1	Web設定を使用する	21
8.2	WANポートを設定する（PPPoE接続の設定例）	22
8.3	WANポートを設定する（DHCPクライアントの設定例）	25
8.4	VoIPー基本設定を設定する	28
8.5	VoIPーサーバーの登録を設定する	29
8.6	着信番号通知を設定する	30
8.6.1	ダイヤルイン番号の設定例	31
9	着信するには	32
9.1	代表組を使うには	32
10	発信するには	33
10.1	IP電話やISDN回線に発信できない電話番号	33
11	その他の機能	34
11.1	更新機能	34
11.2	停電時のとき	34
11.3	設定初期値	34

<b>12</b>	<b>故障かな?と思ったとき</b> .....	<b>35</b>
12.1	電話がかけられない.....	35
12.2	その他.....	36
12.3	お問い合わせ.....	36
<b>13</b>	<b>ご参考</b> .....	<b>37</b>
13.1	本機通話に関するランプと識別音について.....	37
13.2	INS ネット 64 (ISDN) の付加サービスについて.....	38
13.3	IP 電話の付加サービスについて (2004 年 2 月現在).....	38
13.4	電話機からの設定一覧.....	39
13.5	電話機からの操作一覧.....	39
13.6	回線選択テーブル (初期値).....	40
13.7	主な仕様.....	41



# 1 概要

本機VIA300は、NTTコミュニケーションズ(株)が提供するIP電話サービス(OCNドットフォンオフィス)に対応したアダプターです。

INS ネット64(以後ISDNと呼びます)対応PBXからの発信をISDN回線またはIP電話に自動で振り分け、かつISDN回線およびIP電話の両方からの着信も可能にします。

特に、本機の回線選択テーブルに電話番号を登録しますと、登録済みの電話番号で発信する時にご希望されるISDN回線またはIP電話を自動的に選択します。これにより、通話品質と通話費用を発信先に応じて選ぶことができます。

## ご使用上の注意

- ・フレックスホン(キャッチホン、通信中転送、三者通話、着信転送)、通話中着信通知はサポートしていません。(詳しくは、「INS ネット64の付加サービスについて」をご参照ください。)
- ・本機に電源が入っていない時、IP通話が出来ません。この場合はISDN回線を使って通話を行います。(通話料はお客様が加入している電話会社からの請求となります。)
- ・着信番号の通知条件によっては、PBX-U点に接続しているISDN機器の設定変更が必要となる場合があります。
- ・本機のPBX-U点経由ではデータ通信はできません。PBX-U点に接続するISDN機器のS/TコネクタにG4FAXやデータ通信を行う機器を接続している場合、本機のS/Tコネクタに接続してください。
- ・ISDN回線契約が現在P-P接続のお客様は本機をご利用できません。P-MP接続(常時)に契約を変更する必要があります。
- ・発着信中・本機設定中や通話中に接続ケーブルが抜けますと正常に動作しなくなる事が有ります。その時は、接続PBXと本機の電源を再度一旦オフにしてからオンにしてご利用ください。
- ・問題なく通話するには、IP網が少なくとも上り下り共約360kbps以上の回線速度が必要です。回線速度が遅いと通話品質が落ちたり通話ができないことがあります。
- ・本機にグローバルIPアドレスが利用可能であることが必要です。
- ・IP電話でご利用できない電話番号はISDN回線を使って通話します。(通話料は、お客様が加入している電話会社からの請求となります。)IP電話ご利用は識別音にてご確認ください。

## 本機故障時の応急処置

- ・本機の故障によりIP通話やISDN通話が出来なくなった場合は、本機の電源をオフにする事によりPBX-U点とISDN-U点を直結してISDN回線を使って通話が可能となります。

## 2 お客様にご準備して頂くこと

本機を設置される前に、あらかじめお客様に以下のご準備を御願いたします。

1. ADSLサービスを受けるための回線のご用意(詳細は、NTTコミュニケーションズ(株)提供の資料をご参照ください)と、OCN ADSL等(以後ISPと呼びます)への申し込みをお済ませください。契約が完了しましたら、本機設定の際に契約書(お申し込み内容のご案内)をご用意ください。
2. IP電話サービスを受けるために、OCNドットフォンオフィスへの申し込みをお済ませください。契約が完了しましたら、本機設定の際に契約書(お申し込み内容のご案内)をご用意ください。
3. イーサネットインタフェースを有するADSLモデム等とその取扱説明書。
4. ADSLモデム等と本機を接続のためのLANケーブル(RJ45ストレートカテゴリ5、本機付属)。
5. OSがWindows95/98/Me/2000/XPのいずれかで、10/100BASE-T/TXイーサネットカードを搭載したパソコン。
6. イーサネットカードが無い場合は、イーサネットカードをご用意の上、付属の説明書に従ってカードの取り付けとドライバーのインストールを行ってください。
7. Web設定を行うためのWebブラウザ Internet Explorer(5.0以降)。
8. 本機とパソコンを接続するためのLANケーブル(RJ45ストレートカテゴリ5)。
9. DSU(U点インタフェース)を有するISDN用PBXと本機を接続のための回線ケーブル(RJ11中央2芯ストレート)。ISDN用PBXにU点が無い場合(S/T点の場合)は、別途DSUをご用意ください。
10. 安定動作と安全(雷等)の為のアース線。

## 3 製品の構成 (梱包内容)

ご購入いただいた製品には次のものが含まれています。ご利用になる前に内容をご確認ください。

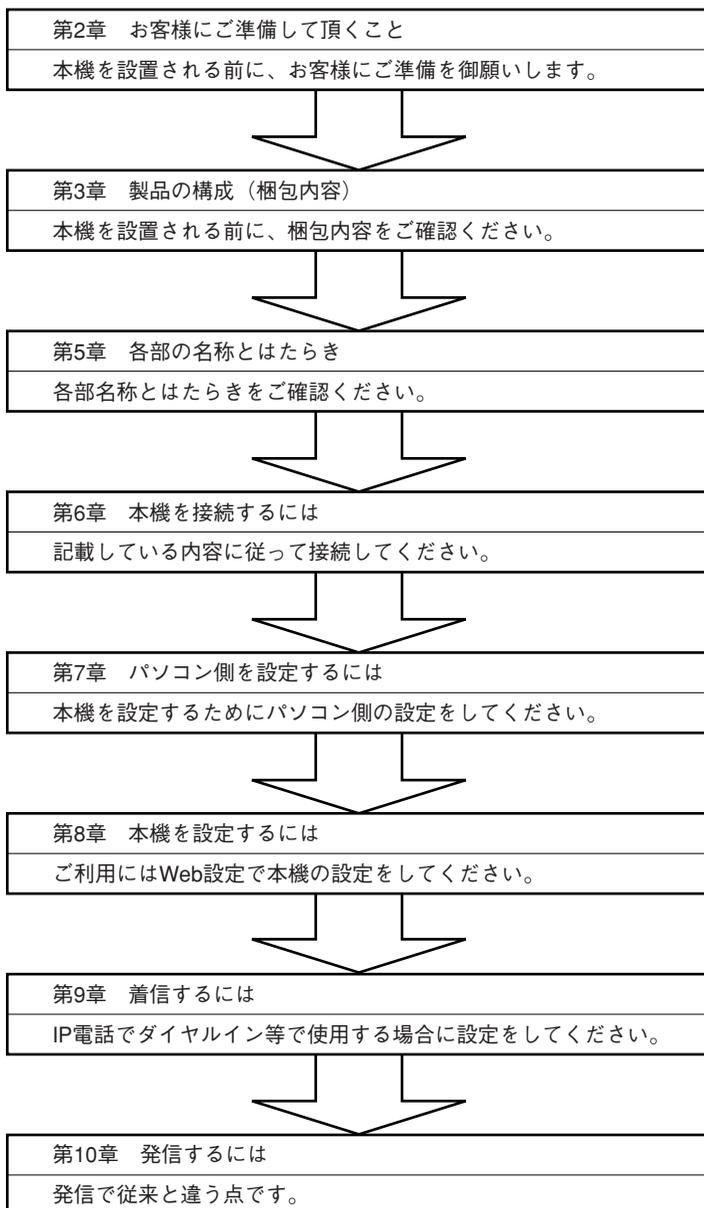
万一、不足の物が御座いましたら、お買いあげの販売店までお申し付けください。

項目	数
VIA300 本体	1 台
LANケーブル(ストレート、WAN用 1メートル)	1 本
電源コード	1 本
ユーザー登録カード	1 枚
保証書	1 枚
CD-ROM(取扱説明書)	1 枚

注意：接続に必要なケーブルは別途ご購入ください。  
取扱説明書は本機と共にご利用ください。

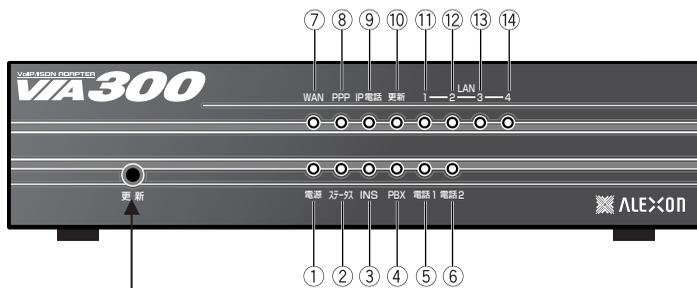
## 4 ご利用までの流れ

本機をご利用するには下記順番で各章をご確認ください。



# 5 各部の名称とはたらき

## 5.1 正面図



### 更新(更新スイッチ)

更新ランプが点滅2(0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)の時、ファームウェア(本機を制御するプログラム)の更新が必要です。更新スイッチを押してください。これでファームウェアの更新が自動的に行えます。(詳しくは、「11.1 更新機能」をご参照ください。)

が正常時のランプの状態です。電話1・電話2に関しては利用状態により変化します。

LED ランプ名	表示状態	表示状態の内容
①電源	消灯	電源OFFの状態です。
	点灯	電源ONの状態です。
②ステータス	消灯	本機が異常状態です。
	点滅2	ファームウェア異常です。更新スイッチを押してください。(0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)
③INS	点滅2	ISDN回線と未接続か同期がとれず使用不可の状態です。(0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)
	点灯	ISDN回線と同期がとれて使用可能な状態です。
④PBX	点滅2	PBX-Uと未接続かレイヤ1の同期がとれず使用不可の状態です。(0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)
	点灯	PBX-Uと同期がとれて使用可能な状態です。
⑤電話 1	消灯	PBX側B1チャンネルがISDN回線と接続中か未使用中です。
	点滅2	本機から発信でIP電話経由により一般加入電話と通話中です。(0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)
	点灯	上記外か通話中です。
⑥電話 2	消灯	PBX側B2チャンネルがISDN回線と接続中か未使用中です。
	点滅2	本機から発信でIP電話経由により一般加入電話と通話中です。(0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)
	点灯	上記外か通話中です。
⑦WAN	消灯	ADSLモデム等と未接続状態です。
	点灯	ADSLモデム等と接続状態です。

□が正常時のランプの状態です。

LED ランプ名	表示状態	表示状態の内容
⑧ PPP	消灯	PPP接続が未確立の状態です。 PPPoEの設定が初期値(工場出荷値)の状態です。
	点滅1	PPP接続作業中の状態です。 PPPoEの接続準備中です。 (0.25秒間点灯・0.25秒間消灯)
	点滅2	PPP接続認証失敗の状態です。 PPPoEの設定間違いです。 (0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)
	□点灯	PPP接続が確立している状態です。 インターネットの利用が可能です。
⑨ IP 電話	消灯	VoIPサーバーへの登録が未だの状態です。 IP電話の設定が工場出荷値の状態です。
	点滅2	VoIPサーバーへの登録失敗の状態です。 IP電話の設定間違い、又はVoIPサーバーが障害中です。 (0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)
	□点灯	VoIPサーバーへの登録が完了している状態です。 IP電話の利用が可能です。
⑩更新	□消灯	最新ファームウェアです。
	点滅1	ファームウェア搭載サーバーとの接続エラーです。 しばらくお待ちの上、再度更新スイッチを押してください。 (0.25秒間点灯・0.25秒間消灯)
	点滅2	ファームウェアの更新が必要です。 更新スイッチを押してください。 (0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)
	点灯	ファームウェアを自動更新中です。 更新ランプ点灯中は、絶対電源を切らないでください。
⑪⑫⑬⑭ LAN1,2,3,4	消灯	パソコンと接続が確立していません。
	□点滅	パソコンとデータの送受信が行われています。
	□点灯	パソコンと接続が確立しています。

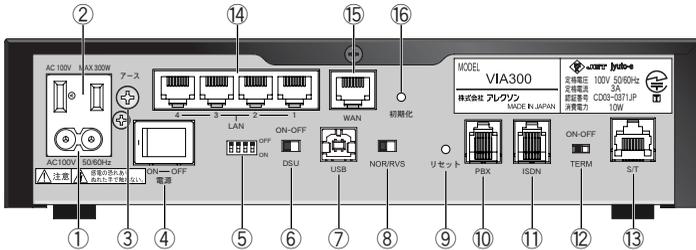
- ・点滅1とは、0.25秒間点灯し0.25秒間消灯します。
- ・点滅2とは、0.5秒間点灯し0.5秒間消灯します。



### 注意

- 更新、PPP、IP電話ランプ共0.25秒間点灯・0.25秒間消灯している場合は、ファームウェアの異常です。本機のリセットスイッチを押してください。
- ファームウェア自動更新中(更新ランプ点灯)に、WAN側に障害が発生した場合、更新ランプは点灯から点滅2に変わります。
- ファームウェア自動更新中(更新ランプ点灯)は絶対に電源を切らないでください。故障の原因となります。
- リセットスイッチを押したり停電回復後、PPPの再接続に数十分必要な場合があります。その時は自動的に再接続(PPPランプ点灯)するまでしばらくお待ちください。

## 5.2 背面図



名称	使用説明
① 電源コネクタ	付属の電源コードを本機と電源コンセント(AC100V)に接続します。
② AC サービスコンセント	他機の電源(AC100V)として使用可能なサービスコンセントです。本機電源スイッチと関係なく、常時通電しています。 <b>注意:</b> 最大300Wまで使用可能です。300W以上使用しますと火災の原因となります。
③ アース端子	安定動作と安全の為にアース線を使って接地します。アース線は付属していませんので、ご用意の上、接続してください。
④ 電源スイッチ	電源のON/OFFを行うためのスイッチです。
⑤ 設定スイッチ	次ページ記載
⑥ DSU	内蔵しているDSUを使用するときにはON、外部DSUを使用するときにはOFFにします。初期設定はONになっています。 <b>注意:</b> DSUをOFFにすると、ISDNコネクタ⑪は使用できません。
⑦ USB	設置業者様等のメンテナンス用です。
⑧ NOR/RVS	ISDN回線の極性が反転しているときに、極性を変えるためのスイッチです。初期設定はNORになっています。 (このスイッチは、ISDN側とPBX側の極性が連動しています。)
⑨ リセットスイッチ	本機動作をリセットします。 <b>注意:</b> 本機をリセットしても設定内容は変わりません。
⑩ PBX	PBX(ISDN機器)等のU点(RJ11)に接続します。 <b>注意:</b> ・接続するISDN機器がS/T点接続の場合は、別途DSUをご用意ください。 ・データ通信はご利用できません。
⑪ ISDN	本機がDSUスイッチ⑥がONのとき、ISDN回線のU点(RJ11)と接続します。
⑫ TERM	終端抵抗のON/OFFを設定します。初期設定はONになっています。S/Tコネクタ⑬に接続機器が無い場合はON、他の機器を接続される場合は、本機から一番遠いISDN機器の終端抵抗のみONにして、それ以外のISDN機器は終端抵抗をOFFに設定してください。

名称	使用説明
⑬ S/T	<p>本機DSUスイッチ⑥がOFFの場合は、他のDSUに接続するコネクタです。他のDSUに接続する場合は、必ず本機DSUスイッチをOFFにしてください。</p> <p>本機DSUスイッチ⑥がONの場合は、このS/Tコネクタは、他のISDN機器を接続するためのDSU機能としてのみ機能します。他のISDN機器(RJ45)との接続に利用します。ファントム給電しておりますので給電で動作したり、給電により回線接続を判断するISDN機器を接続できます。</p> <p>注意：・PBX用U点に接続した機器が、ISDN回線を2チャンネル使用しているとS/Tコネクタに接続したISDN機器は通信や通話ができません。          ・S/Tコネクタに接続したISDN機器が、ISDN回線を2チャンネル使用しているときPBX用U点に接続した機器は、ISDN回線での通話はできません。          ・S/Tコネクタに接続したISDN機器はIP電話として利用できません。</p>
⑭ LAN1～4	<p>LANケーブル(ストレート、RJ45)を使ってパソコンと接続します。</p> <p>注意：初期値ではLAN1のみ利用可能です。</p>
⑮ WAN	<p>LANケーブル(ストレート、RJ45)を使ってADSLモデム等と接続します。</p>
⑯ 初期化スイッチ	<p>初期化スイッチを押しながら電源を入れると、全設定を初期化します。</p> <p>ステータスランプ点灯するまで初期化スイッチを押し続けてください。</p> <p>この操作を行うと、設定していた内容が全て工場出荷値に戻りますので十分にご注意ください。</p>

## ⑤ 設定スイッチ

【固】：固定値、【初】：初期値

番号	内容	ON	OFF
1	ISDN回線発信※1	発信禁止	発信許可【初】
2	ISDN回線着信※1	着信禁止	着信許可【初】
3	未使用	—	【固】
4	未使用	—	【固】

※1 設定変更後すぐに有効となります。



注意

- リセットスイッチを押したり停電回復後、PPPの再接続に数十分必要な場合があります。その時は自動的に再接続(PPPランプ点灯)するまでしばらくお待ちください。

## 6 本機を接続するには

### 6.1 接続に関する注意点

1. ルータタイプのADSLモデムをご利用になっているお客様は、ADSLモデムの動作モードをブリッジモードにする必要が有ります。(お手持ちのADSLモデムの取扱説明書でご確認ください。)
2. ADSLモデムと接続する場合は、添付のLANケーブル(RJ45ストレートカテゴリ5)をご使用ください。
3. ADSLモデムと接続する場合は、ADSLモデムの取扱説明書にてご確認ください。
4. パソコンと接続する場合は、LANケーブル(RJ45ストレートカテゴリ5)をご使用ください。
5. ISDN回線と接続する場合は、回線ケーブル(RJ11中央2芯)をご利用ください。
6. ISDN用PBXと接続する場合は、回線ケーブル(RJ11中央2芯)をご利用ください。
7. PBX-U点に接続するISDN用PBXがS/T点接続の場合は、別途DSUをご用意ください。
8. 本機にはADSLモデムと接続するケーブル以外は付属していませんので、別途ご注意ください。
9. 干渉の問題を回避する為にPBX-Uケーブルは他のケーブルと分離し、宅内配線を行う必要があります。干渉がありますと動作不良の原因となります。
10. 本機のPBX-U点経由ではデータ通信はできません。PBX-U点に接続するISDN機器のS/TコネクタにG4FAXやデータ通信を行う機器を接続している場合、本機のS/Tコネクタに接続してください。

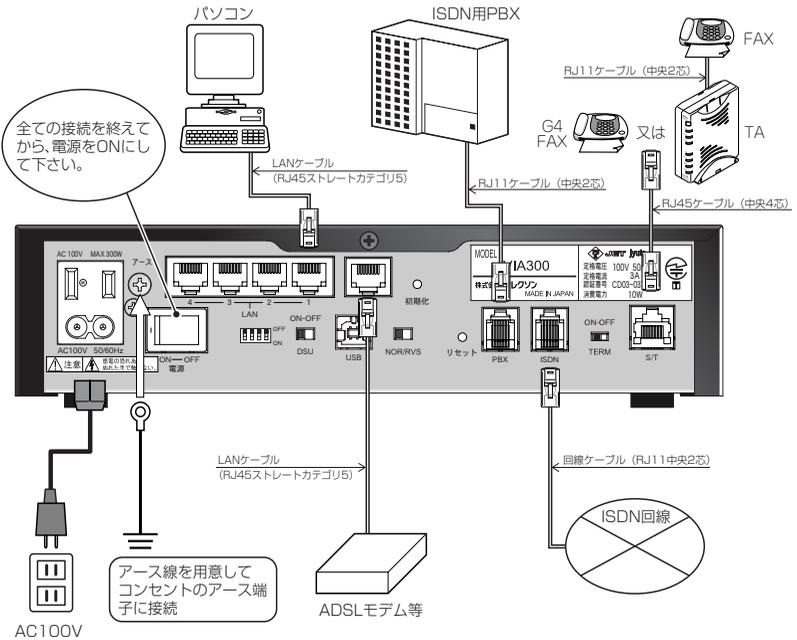


#### ご注意

- S/T点終端スイッチ(TERM)は、S/Tに接続機器が無い場合はON、他の機器を接続される場合は、本機から一番遠いISDN機器の終端抵抗のみONにして、それ以外のISDN機器は終端抵抗をOFFに設定してください。
- 本機内蔵のDSUを使用するときにはDSUスイッチをONにしてISDN回線をISDNコネクタに接続してください。外部DSUを使用するときには必ずOFFにして他のISDN機器のS/Tバス出力をS/Tコネクタに接続してください。DSUスイッチをONのまま使用しますと故障の原因となります。

## 6.2 各機器との接続

次のように接続してください。機器の接続は電源をOFFにした状態で行ってください。

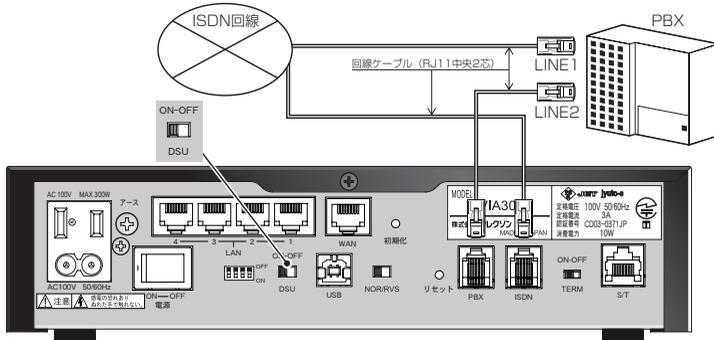


## 6.3 複数回線収容型のPBX との接続

### 6.3.1 一般的な接続例

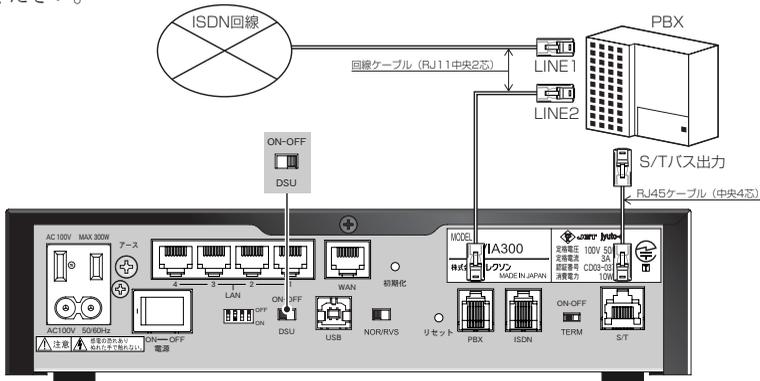
本機のPBXとの接続インターフェース（PBXコネクタ）は、本機ISDNコネクタに収容されたISDN回線に従属同期する様に設計されています。

本機にISDN回線を直接接続でご使用になる場合、下図の様に本機のDSUスイッチをONに設定し、ISDN回線を本機ISDNコネクタに接続してください。



### 6.3.2 PBX 経由での接続例

本機とPBXとの接続インターフェース（PBXコネクタ）は、本機S/Tコネクタに収容されたPBXのS/Tバス出力に従属同期する様に設計されています。本機をPBX経由でご利用になる場合、下図の様に本機のDSUスイッチをOFFにし、本機のS/Tコネクタは、PBXのISDN回線を直接収容したDSUのS/Tバス出力と接続してください。



#### ご注意

- PBX経由でご利用の場合、設定スイッチ2（ISDN回線着信）をON（禁止）に設定してください。

## 6.4 接続後の確認

### 6.4.1 ADSL モデムと本機

1. ADSLモデムの電源投入を確認します。
2. 本機の電源投入後、電源ランプ点灯を確認します。
3. ステータスランプ点灯を確認します。
4. 本機WANランプ点灯を確認します。(ADSLモデムと接続中表示)  
WANランプ消灯の場合は、
  - ・LANケーブル(RJ45ストレート)が正しく接続されていますか？
  - ・ストレートケーブルではなくクロスケーブルを使用されていませんか？

### 6.4.2 パソコンと本機

1. パソコンの電源投入を確認します。
2. 本機LANランプ点灯を確認します。(パソコンとリンク中表示)  
LANランプ消灯の場合は、
  - ・LANケーブル(RJ45ストレート)が正しく接続されていますか？
  - ・パソコンのネットワーク設定を正しくされていますか？(詳しくは次項の「7 パソコン側を設定するには」をご参照ください。)

### 6.4.3 ISDN 用 PBX と本機

1. ISDN用PBXの電源投入を確認します。
2. 本機PBXランプ点灯を確認します。(PBXと同期表示)  
PBXランプ点滅の場合は、
  - ・回線ケーブル(RJ11中央2芯)が正しく接続されていますか？
  - ・ISDN回線とPBXの極性が両方反転していませんか？その時は、ISDN回線リバーススイッチを変更してください。

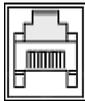
### 6.4.4 ISDN 回線と本機

1. 本機INSランプ点灯を確認します。(ISDN回線と同期表示)  
INSランプ点滅の場合は、
  - ・回線ケーブル(RJ11中央2芯)が正しく接続されていますか？
  - ・ストレートケーブルではなくクロスケーブルを使用されていませんか？
  - ・DSUスイッチは正しく設定されていますか？

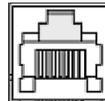


#### ワンポイント

RJ11(回線ケーブルを接続:上部表) RJ45(S/Tケーブルを接続:下部表)



PBX1・2



S/T

ピン番号	6	5	4	3	2	1
信号名	—	—	L1	L2	—	—

ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
信号名	—	—	TB	RB	RA	TA	—	—

注意：ピン番号は信号名表と同じで右から1番となります。

## 7 パソコン側を設定するには

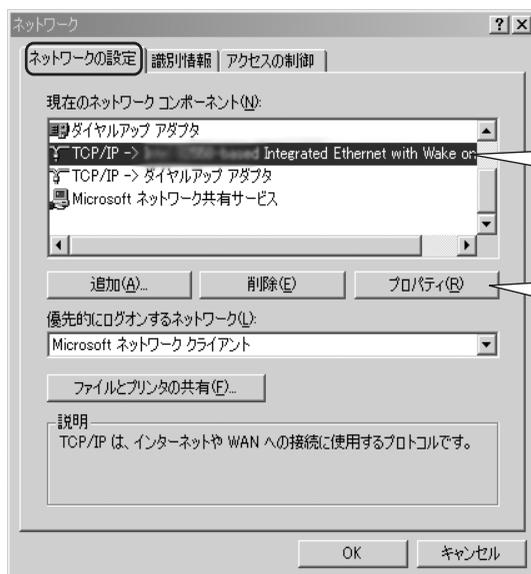
本機とパソコンを接続するには、パソコン側に TCP/IP の設定が必要です。  
ご利用の OS により TCP/IP の設定方法が異なりますので、以下をご参照ください。

### 7.1 Windows95/98/Me の場合

1. 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」をダブルクリックします。  
「ネットワーク」ダイアログが表示されます。



2. 「ネットワーク」ダイアログで、「TCP/IP」→「ご利用の LAN カードの品番」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。  
「TCP/IP のプロパティ」ダイアログが表示されます。



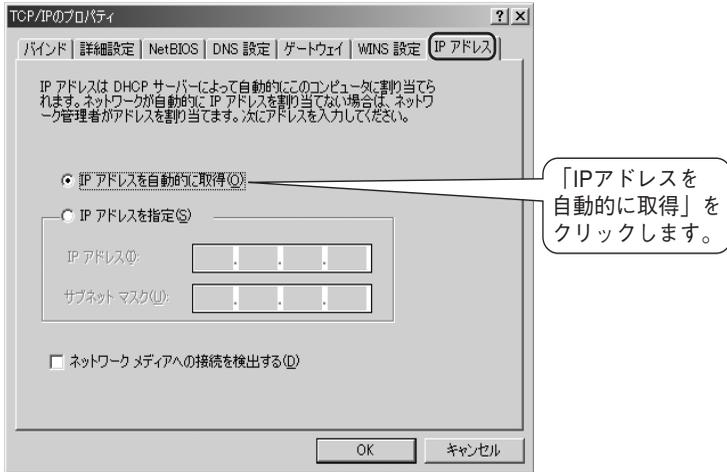
①ご利用の LAN カードをクリックします。

②「プロパティ」ボタンをクリックします。

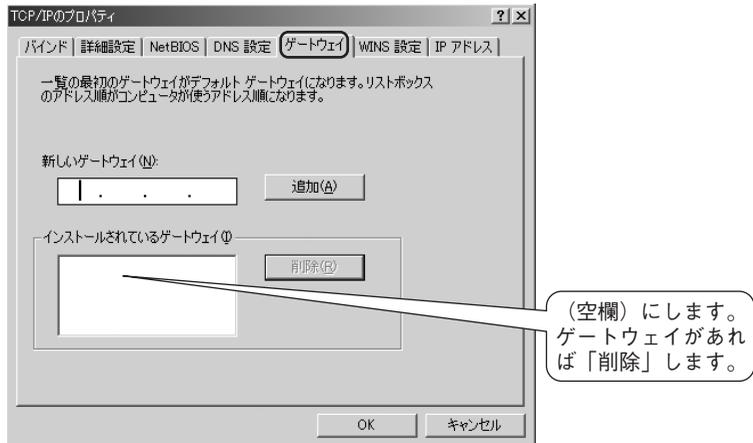
#### ご注意

- Windows95の場合、「現在のネットワークコンポーネント」にTCP/IPがインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、「追加」「TCP/IP」「プロトコル」「追加」「Microsoft」「TCP/IP」「OK」を順繰りにクリックすることでTCP/IPがインストールされます。

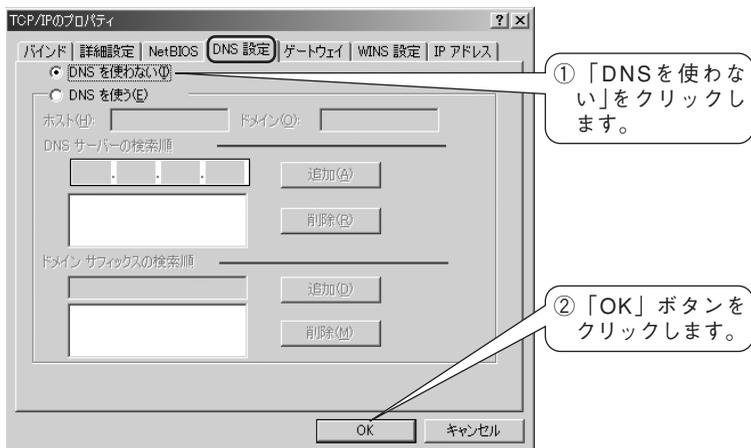
3. 「TCP/IPのプロパティ」ダイアログの「IPアドレス」タブをクリックし、「IPアドレスを自動的に取得」をクリックします。



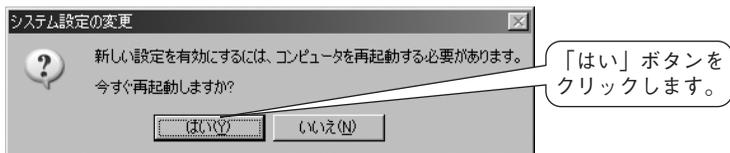
4. 「TCP/IPのプロパティ」ダイアログの「ゲートウェイ」タブをクリックします。「新しいゲートウェイ」は追加しないでください。また、「インストールされているゲートウェイ」は空欄にしてください。入っている場合はゲートウェイをクリックし、「削除」ボタンをクリックして削除してください。



5. 「TCP/IPのプロパティ」ダイアログの「DNS設定」タブをクリックします。「DNSを使わない」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



6. 「ネットワーク」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
7. 次のようなメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



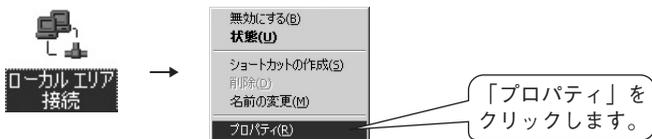
8. 「7.4 インターネットオプションの設定」の設定を行ってください。

## 7.2 Windows2000 の場合

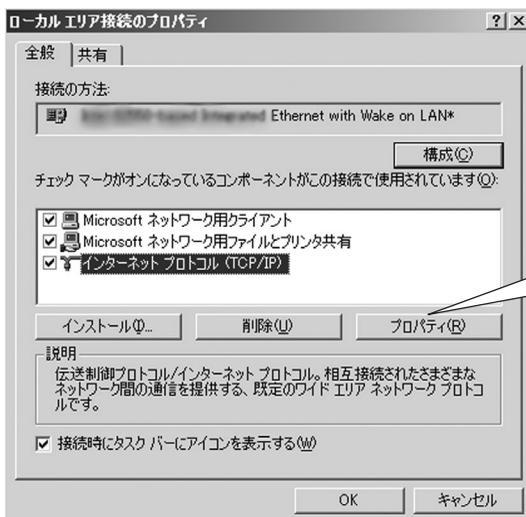
1. 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。



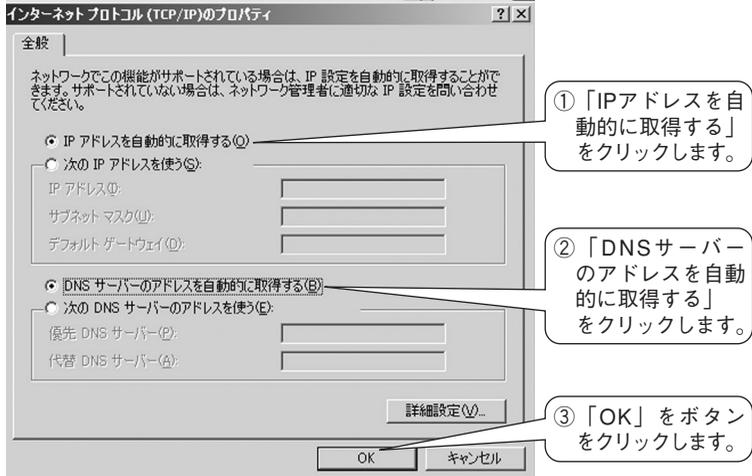
2. 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選びます。  
「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。



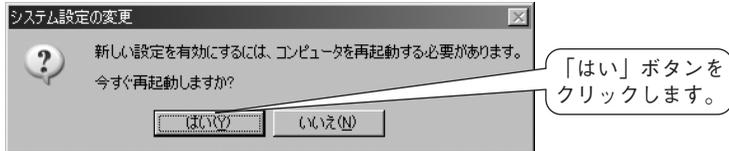
3. 「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログで「全般」タブをクリックします。「コンポーネントリスト」から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。  
「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」ダイアログが表示されます。



4. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」ダイアログで「IPアドレスを自動的に取得する」をクリックします。次に、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



5. 「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。
6. 設定を変更した場合は、次のようなメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



7. 「7.4 インターネットオプションの設定」の設定を行ってください。

## 7.3 WindowsXP の場合（カテゴリ表示の場合）

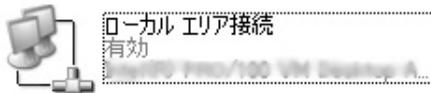
1. スタートメニューから「コントロールパネル」をクリックします。  
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。



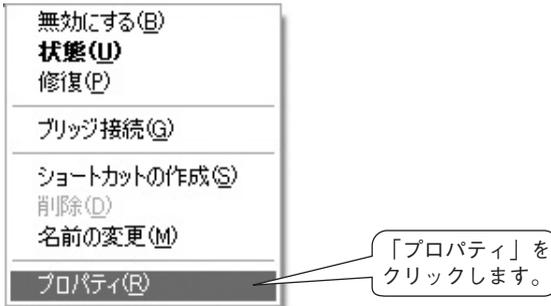
2. 「コントロールパネル」ウィンドウで「ネットワーク接続」をダブルクリックします。



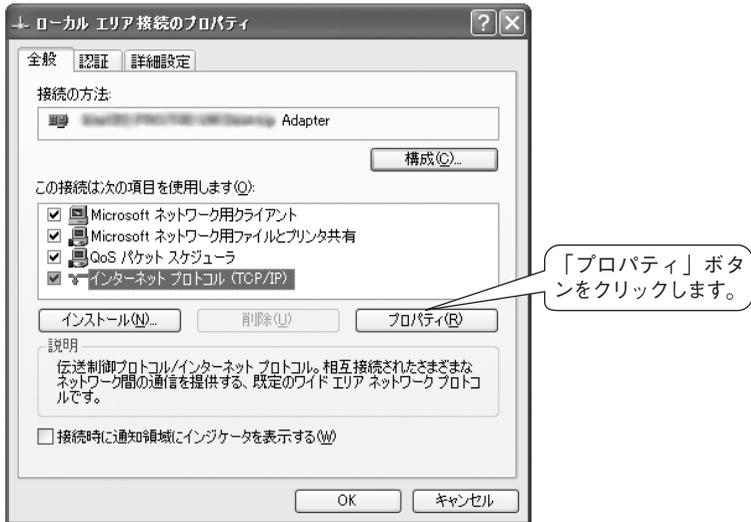
3. 「ローカルエリア接続」を右クリックします。



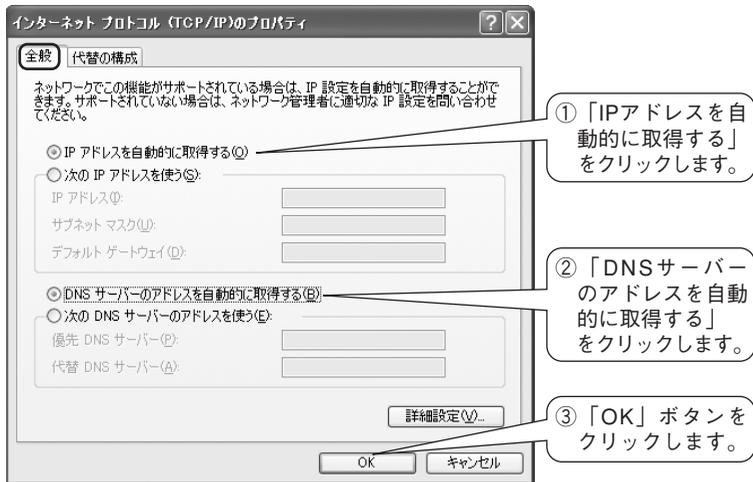
4. 「プロパティ」をクリックします。  
「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。



5. 「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログで「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。  
「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」ダイアログが表示されます。



6. 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」ダイアログで「全般」タブをクリックします。「IPアドレスを自動的に取得する」をクリックします。次に、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



7. 「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

8. 「7.4 インターネットオプションの設定」の設定を行ってください。

## 7.4 インターネットオプションの設定



### ご注意

- OSにより多少デザインが異なります。

1. 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。→「コントロールパネル」をダブルクリックします。



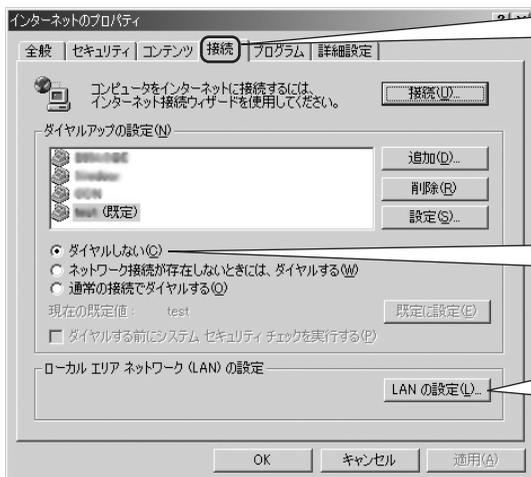
コントロール  
パネル

2. 「インターネットオプション」をダブルクリックします。  
「インターネットのプロパティ」ダイアログが表示されます。



インターネット  
オプション

3. 「インターネットのプロパティ」ダイアログの「接続」タブをクリックします。「ダイヤルアップの設定」の一覧にプロバイダ接続があれば、「ダイヤルしない」をチェックします。プロバイダ接続が無ければ選択の必要はありません。次に、「LANの設定」ボタンをクリックします。  
「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」ダイアログが表示されます。

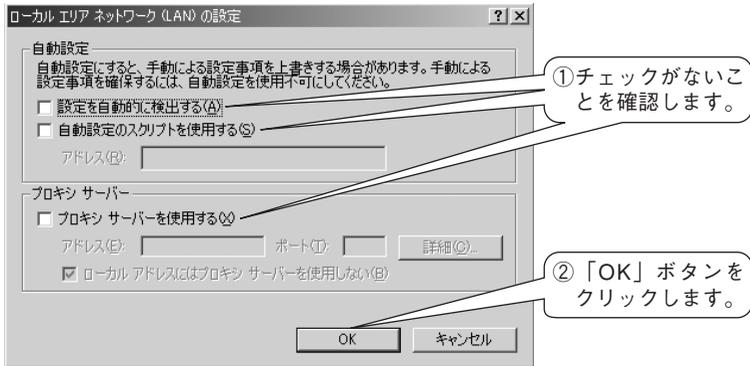


① 「接続」タブを  
クリックします。

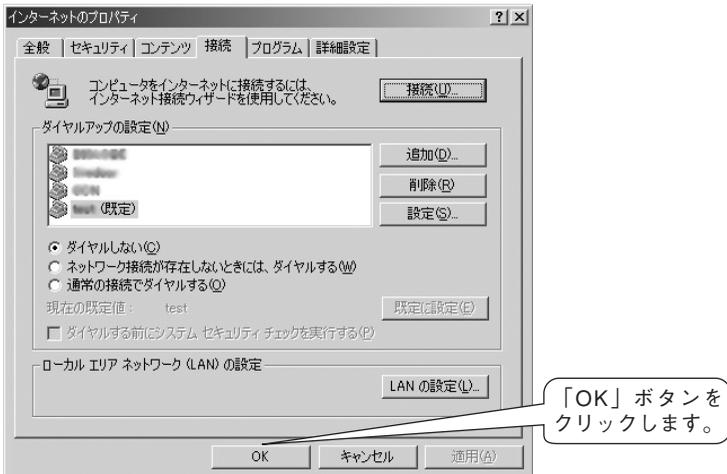
② 「ダイヤルしない」  
をチェックし  
ます。

③ 「LANの設定」  
ボタンを  
クリックします。

4. 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」ダイアログでチェックボタンの全てに、チェックがないことを確認し、「OK」ボタンをクリックします。  
「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」ダイアログが閉じられます。



5. 「インターネットのプロパティ」ダイアログの「OK」ボタンをクリックします。



6. これでインターネットオプションの設定は完了します。

## 8 本機を設定するには

本機でIP電話を利用するにはパソコンからInternet Explorer (5.0以降)を使って「かんたん設定」の項目を設定する必要があります。

設定での入力は半角で大文字・小文字をご確認の上 正しく入力をお願いします。

(注意: 仕様の変更により説明書のWeb画面と多少異なる事が御座います。)

### 8.1 Web設定を使用する

1. パソコンよりInternet Explorer (5.0以降)アイコンをダブルクリックします。



このアイコンをダブルクリックします。

2. URLフィールドに本機のIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押します。



192.168.1.1を入力します。

3. ユーザー名とパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックします。

ユーザー名: user

パスワード: user



①ユーザー名を入力します。

②パスワードを入力します。

③「OK」ボタンをクリックします。



注意

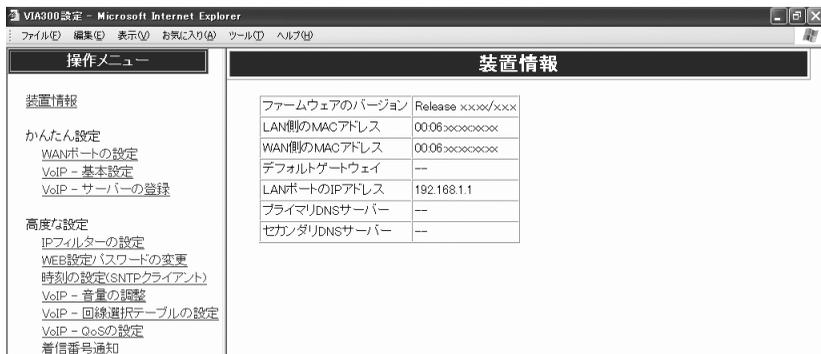
- 通話中に、本機の設定変更は行わないようにしてください。正常な通話が出来なくなります。



ワンポイント

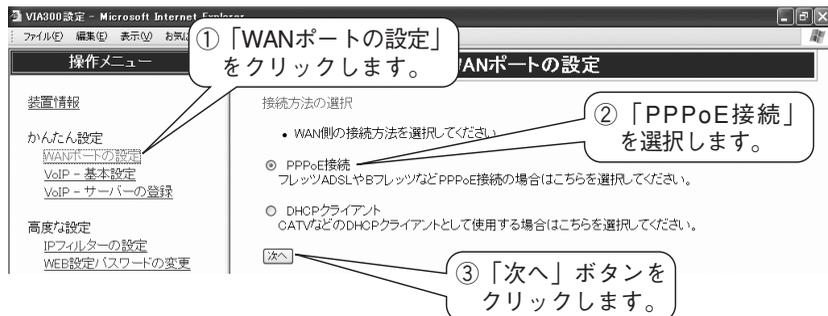
- 上記パスワードは初期値です。運用開始時には安全管理の為にパスワードを変更してください。
- パスワードを変更するには、Web設定で「高度な設定」→「WEB設定パスワードの変更」→「パスワードの変更」。パスワードは最小1文字、最大10文字半角英数字です。大文字小文字の区別をします。

4. 正しくユーザー名とパスワードを入力しますと、Web設定画面が表示されます。



## 8.2 WANポートを設定する (PPPoE接続の設定例)

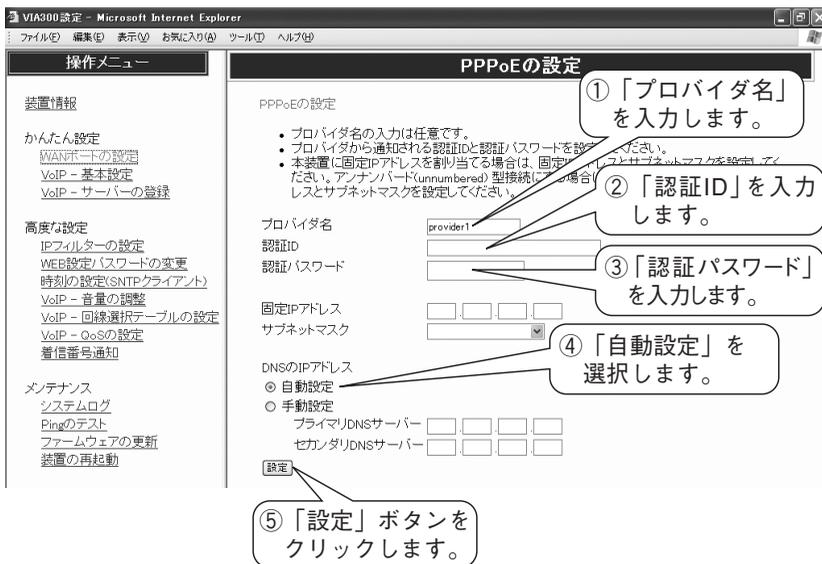
1. 本機のWANランプが点灯していることをご確認ください。WANランプが消灯の場合、ADSLモデム等と正常に接続できていない可能性があります。接続をご確認ください。
2. 「操作メニュー」から「かんたん設定」の「WANポートの設定」をクリックします。「接続方法の選択」画面が表示されます。  
新規で「PPPoE接続」を行うときに「接続方法の選択」画面を表示しない場合は、「DHCPクライアント」が設定されています。この設定を「削除」してから「再起動」してください。
3. 「接続方法の選択」で「PPPoE接続」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。



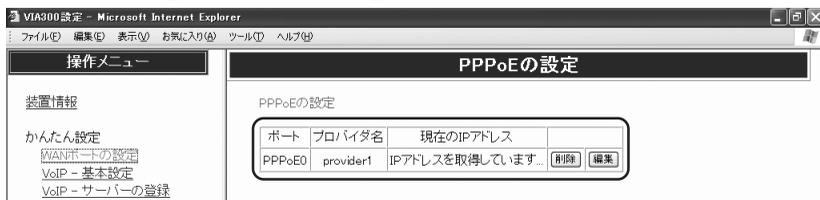
4. 「PPPoEの設定」画面で「追加」ボタンをクリックします。



5. 「プロバイダ名」→「認証ID」→「認証パスワード」を入力します。→「DNSのIPアドレス」の自動設定を選択します。→「設定」ボタンをクリックします。(契約書をご用意の上、半角文字で英数字・記号・大文字・小文字の違いをよくご確認ください。)



6. 「PPPoEの設定」画面が空白から設定内容を表示することを確認します。



7. PPPランプが点滅してデータの送受信が行われます。数分経過しても点滅の状態でしたら、「PPPoEの設定」に間違いがあると思われます。再度「PPPoEの設定」画面をご確認ください。

8. PPP接続が確立しますとPPPランプが点灯します。

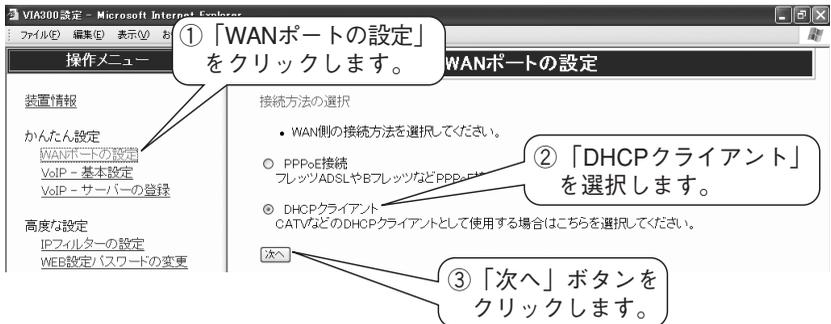
9. 念のため、装置情報で「PPPoEポートのIPアドレス」にアドレスが入っている事を確認します。



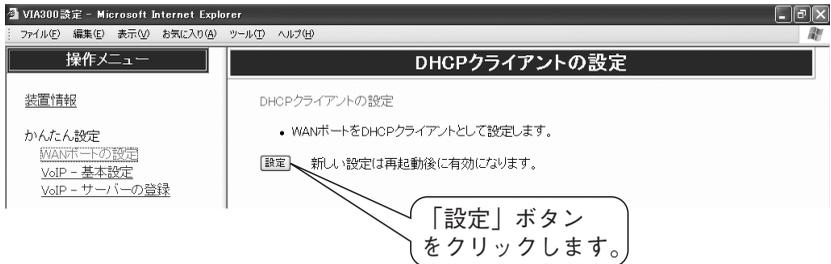
10. これで、ADSLモデムとの設定が完了します。

## 8.3 WANポートを設定する (DHCPクライアントの設定例)

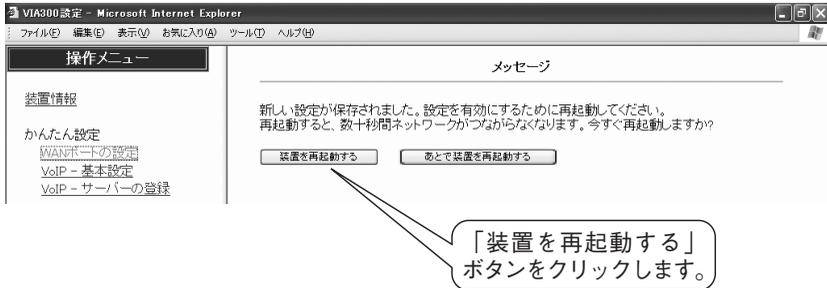
1. 本機のWANランプが点灯していることをご確認ください。WANランプが消灯の場合、モデム等と正常に接続できていない可能性があります。接続をご確認ください。
2. 「操作メニュー」から「かんたん設定」の「WANポートの設定」をクリックします。「接続方法の選択」画面が表示されます。  
新規で「DHCPクライアント」を行うときに「接続方法の選択」画面を表示しない場合は、「PPPoE接続」が設定されています。この設定を「削除」してから「再起動」してください。
3. 「接続方法の選択」画面で「DHCPクライアント」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。



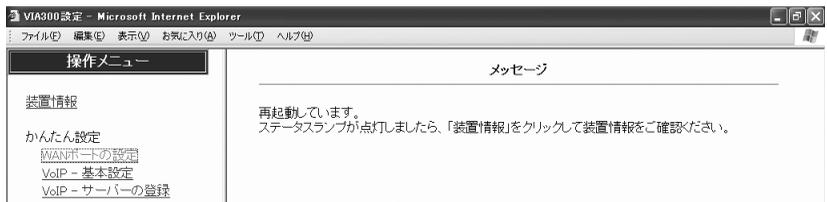
4. 「DHCPクライアントの設定」→「設定」ボタンをクリックします。



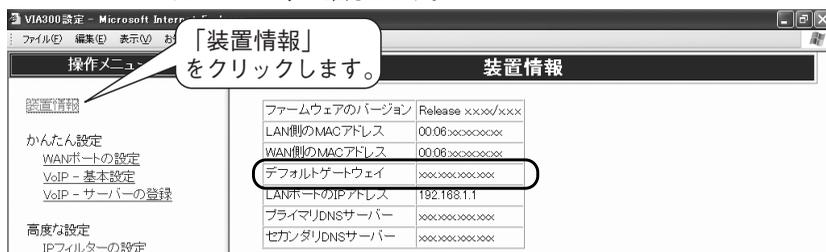
5. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。



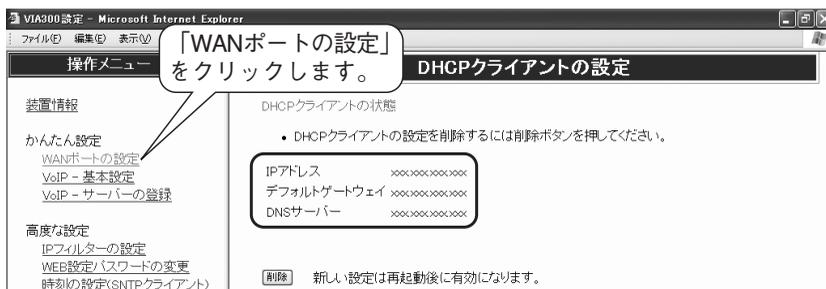
6. 「再起動しています...」の表示が出ますので、「ステータスランプ」点灯までしばらくお待ちください。



7. 本機の「ステータスランプ」点灯を確認します。「操作メニュー」から「装置情報」をクリックし、「装置情報」画面で装置情報を確認します。「デフォルトゲートウェイ」にアドレスが入っている事を確認します。



8. 「操作メニュー」から「かんたん設定」の「WANポートの設定」をクリックします。「DHCPクライアントの状態」画面を確認し、「IPアドレスを取得していません」の表示が出ましたら、WANポートの異常か「接続方法の選択」が間違っています。ISPの契約書等でご確認ください。



9. これで、「DHCPクライアント」の設定は完了します。

## 8.4 VoIP – 基本設定を設定する

1. 本機のPPPランプが点灯している事をご確認ください。PPPランプが消灯の場合は、「8.2 WANポートの設定をする」からご確認ください。
2. 「操作メニュー」から「かんたん設定」の「VoIP-基本設定」をクリックします。「VoIP-基本設定」画面が表示されます。
3. 「VoIP-基本設定」画面で、以下の設定を行います。

The screenshot shows the 'VoIP-基本設定' (VoIP Basic Settings) screen. The settings are as follows:

- ① 「VoIP-基本設定」をクリックします。 (Click on 'VoIP-基本設定').
- ② 「IP電話利用」有効/無効を指定します。 (Specify '有効' or '無効' for 'IP電話利用').
- ③ 「市外局番」を入力します。 (Enter '市外局番').
- ④ 「発信者番号通知」通知/非通知を選択します。 (Select '通知' or '非通知' for '発信者番号通知').
- ⑤ 「一般電話再発信」有効/無効を選択します。 (Select '有効' or '無効' for '一般電話再発信').
- ⑥ 「識別音通知」有効/無効を選択します。 (Select '有効' or '無効' for '識別音通知').
- ⑦ 「設定」ボタンをクリックします。 (Click the '設定' button).

### ご参考

□が初期値です。

項目	設定	内 容
IP電話利用	有効	主にIP電話を利用します。
	無効	ISDN回線のみを利用します。
市外局番	—	ISDN回線で利用する市外局番を入力します。
発信者番号通知	通知	IP電話で相手先に電話番号を通知します。
	非通知	IP電話で相手先に電話番号を通知しません。
一般電話再発信	有効	IP電話が利用出来ないときに自動的にISDN回線へ発信します。
	無効	IP電話が利用出来ないときは発信しません。
識別音通知	有効	発信時に相手先がIP電話の場合は「ドミソ」、IP電話を通して一般電話の場合は「ドミ」の音を出します。
	無効	発信時に特別な音を出しません。

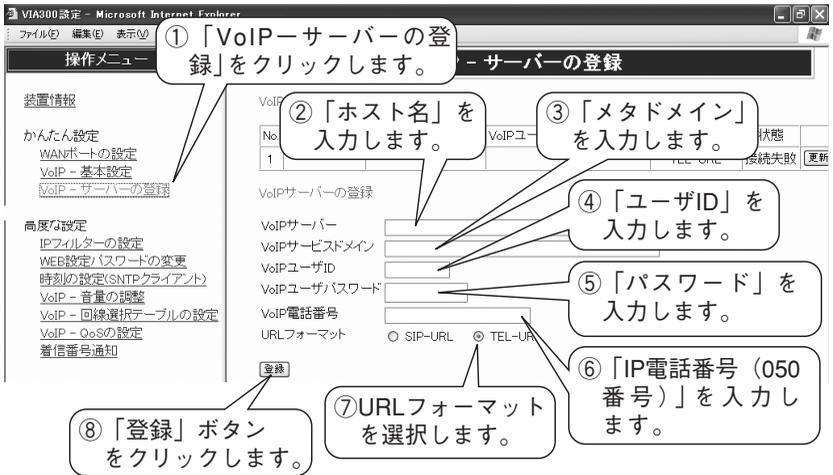


### ご注意

- 市外局番は変更されることがありますので、その都度変更を御願います。
- 「発信者番号通知」を「通知」に設定しても、IP電話のサービスによっては番号通知できないことがあります。
- 「186 (通知)」「184 (非通知)」を相手先電話番号の最初に付加して発信した場合、「発信者番号通知」の設定よりも優先します。
- ISDN回線への直接発信については、通話料金はお客様が加入している電話会社からの請求となります。

## 8.5 VoIP –サーバーの登録を設定する

1. 本機のPPPランプが点灯している事をご確認ください。PPPランプが消灯の場合は、「8.2 WANポートの設定をする」からご確認ください。
2. 「操作メニュー」から「かんたん設定」の「VoIP-サーバーの登録」をクリックします。「VoIPサーバーの登録」が表示されます。
3. 「VoIPサーバーの登録」画面で、以下の設定を行います。
  - ・「ホスト名」
  - ・「メタドメイン」
  - ・「ユーザID」
  - ・「パスワード」
  - ・「IP電話番号(050番号)」
 設定が完了したら、「登録」ボタンをクリックします。

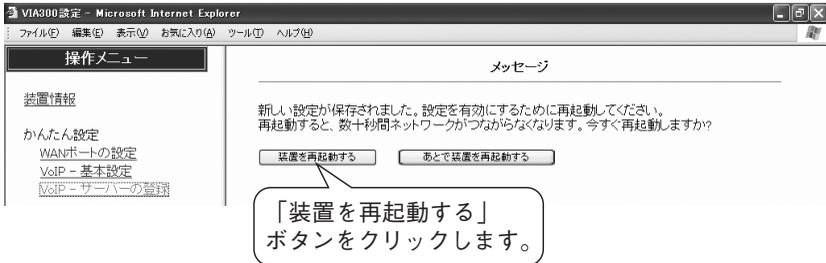


### ご参考

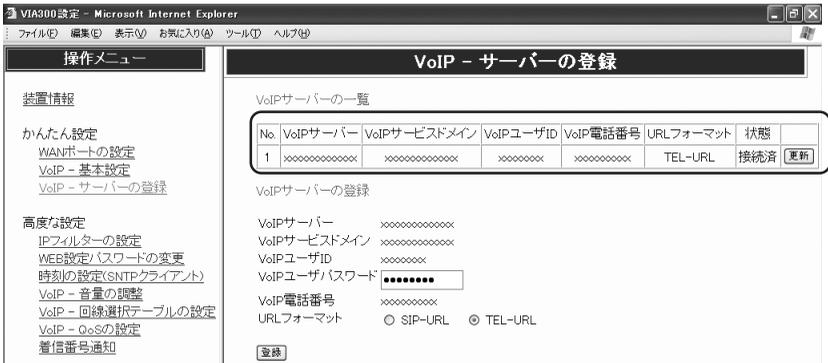
下記項目は、VoIPサービスプロバイダーからの<ご利用案内書>をご用意の上、半角文字で英数字・記号・大文字・小文字の違いをよくご確認ください。

項目	内容
VoIPサーバー	「VoIPサーバー名」(ホスト名)を入力します。設定例 xx.ocn.ne.jp
VoIPサービスドメイン	「サービスドメイン」(メタドメイン)を入力します。設定例 ocn.ne.jp
VoIPユーザID	「VoIPユーザーID」(ユーザーID)を入力します。
VoIPユーザパスワード	「VoIPパスワード」(パスワード)を入力します。
VoIP電話番号	「VoIP電話番号」(IP電話番号050)を入力します。電話番号の間にスペースや記号を入力しないでください。なお、オプションサービスにより一般加入電話番号の入力で一般加入電話番号のご利用も可能です。 設定例 050xxxxxxx 又は 03xxxxxxx
URLフォーマット	IP電話を利用する場合の電話番号通知方法です。VoIPサービスプロバイダーからの指示がなければ変更の必要はありません。

4. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。



5. 設定後、「VoIPサーバーの一覧」が空白から設定内容を表示することを確認します。



6. 本機IP電話ランプが点滅の状態でしたら、VoIPサーバーへの登録エラーです。「VoIPサーバーの登録」に間違いがあると思われます。再度「VoIPサーバーの登録」をご確認ください。

7. VoIPサーバーへの登録が完了しますと本機IP電話ランプが点灯します。

## 8.6 着信番号通知を設定する

IP網からの着信を接続PBXの着信方法に合わせて選択してください。

1. 本機のPPPランプが点灯している事をご確認ください。PPPランプが消灯の場合は、「8.2 WANポートの設定をする」からご確認ください。
2. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「着信番号通知」をクリックします。
3. 「着信番号通知」画面で、以下の選択を行います。
  - ・「通知しない」 契約者番号として通知(グローバル着信)します。
  - ・「ダイヤルイン番号」 入力された数値でダイヤルイン番号として通知します。
  - ・「i・ナンバー1」 i・ナンバー1として通知します。
  - ・「i・ナンバー2」 i・ナンバー2として通知します。
  - ・「i・ナンバー3」 i・ナンバー3として通知します。

4. 設定が完了したら、「登録」ボタンをクリックします。

## 8.6.1 ダイヤルイン番号の設定例

入力された数値でダイヤルイン番号として通知します。

1. 本機のPPPランプが点灯している事をご確認ください。PPPランプが消灯の場合は、「8.2 WANポートの設定をする」からご確認ください。
2. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「着信番号通知」をクリックします。
3. 「着信番号通知」画面で「ダイヤルイン番号」をクリックします。
4. ダイヤルイン番号として通知する番号を登録します。登録可能桁数は1～32桁迄で、電話番号の間にスペースや記号を入力しないでください。(一般的に、市外局番を除いて登録します。)
5. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

操作メニュー

着信番号通知の設定

着信番号の通知方法

- IP網からの着信を、PBXに通知する方法を選択してください。
- 通知しない  
契約者番号での着信となります。
- ダイヤルイン番号  
入力された値でダイヤルイン番号として通知します。  
着信番号の通知方法で「ダイヤルイン番号」を選択した場合、通知する番号を登録します。  
登録可能桁数は1～32桁迄です。
- i-ナンバー1  
i-ナンバー1として通知します。
- i-ナンバー2  
i-ナンバー2として通知します。
- i-ナンバー3  
i-ナンバー3として通知します。

設定

① 「着信番号通知」をクリックします。

② 「ダイヤルイン番号」をクリックします。

③ 通知する電話番号を入力します。

④ 「設定」ボタンをクリックします。

## 9 着信するには

IP 電話と ISDN 回線の両方から着信できます。

ISDN 回線で代表組をご利用の場合は、「9.1 代表組を使うには」をご参照ください。

ただし、電話の着信は下記条件で行っています。

- ・ 空きチャンネル1つで ISDN 回線と IP 電話から着信が同時の場合、どちらの網を着信するかは不定です。
- ・ 空きチャンネル1つで ISDN 回線から着信し、PBX からの発信が同時に発生した場合、着信か発信かは不定です。
- ・ 空きチャンネル1つで IP 電話から着信し、PBX からの発信が同時に発生した場合、両方ともビジーとなります。
- ・ 空きチャンネルが無く、ISDN 回線から新たに着信した場合、発信側へビジー音を返します。
- ・ 空きチャンネルが無く、IP 電話から新たに着信した場合、発信側へビジー音を返します。



### ワンポイント

- 本機をIP電話専用としてご利用される場合、設定スイッチ2 (ISDN回線着信) をON (禁止) に設定してください。

### 9.1 代表組を使うには

ISDN回線で代表組をご利用の場合は下記設定が必要です。

代表組

代表組を使用しない	1 → * → 40	【初期値】
代表組を使用する	1 → * → 41	



### ご注意

- 「代表組を使用する」を設定する場合は、INSネット64付加サービスの発信専用制御(「インタフェース単位制御モード」)の契約が必要です。(局番なし「116」番 (NTT) でお申し込みください。2006年1月現在 工事費・月々の費用共無料です。)

登録するには、本機に接続したPBXより外線をかけるのと同じ手順で、下記の様にします。

1. 受話器をあげ、外線発信ボタンを押してから「ツー」の発信音を確認します。
2. 「5555」(4桁発信限定) を押し、「ツツツ...」の音の後で「ツー」の音に変わる事を確認します。
3. 「1」を押します。
4. 「\*」を押し、「ツウツウツウ...」の音を確認します。
5. 「設定値」を押します。
6. 「ツツツ...」の音の後で「ツー」の音に変わると設定が完了します。
7. 操作が正しくないとき、「ツー」の切断音となり、約2秒後に「ツー」の音に変わります。
8. 「ツー」の音を確認すれば、項目3から繰り返し設定が可能です。

- 設定の保存/変更

設定は、自動保存されますので電源を切っても設定は消えません。

設定の変更を行うと以前の設定に対して上書きされます。

# 10 発信するには

発信の操作は、今までと同じです。

ただし、次のことが異なります。

- ・ 緊急電話等の特殊な電話番号以外は、IP電話へ発信します。
- ・ 続けて電話をご利用の場合は、受話器を2秒以上置いてからご利用ください。
- ・ 回線選択テーブルを登録しますとISDN回線へ発信します。(設定にはWeb設定の「高度な設定」→「VoIP-回線選択テーブルの設定」→「回線選択テーブルへ追加」で設定可能です。)
- ・ 発信先がIP電話の場合、“ドミソ”の音が流れてから相手に接続します。(電話1、又は電話2ランプが点灯します。)
- ・ 発信先がIP電話経由で一般電話に接続した場合、“ドミ”の音が流れてから相手に接続します。(電話1、又は電話2ランプが点滅します。)
- ・ IP電話サービスに何らかの障害がある場合は、「一般電話再発信」「有効」の場合、発信のとき受話器から「ビビ」と聞こえてから、ISDN回線へ発信します。「一般電話再発信」「無効」の場合は、発信のとき受話器から「ビビ」と聞こえてから、ビジートーン(話中音)が聞こえます。
- ・ ISDN回線へ直接発信するには、電話番号の先頭に「0000」を付加してください。(「0000」の番号はWeb設定の「高度な設定」→「VoIP-回線選択テーブルの設定」→「プリフィックス設定」で変更可能です。)
- ・ 「5555」の4桁発信は機能設定用ですので、IP電話およびISDN回線へ発信できません。

発信に関する詳細動作は、「13.1 本機通話に関するランプと識別音について」をご参照ください。



## 注意

- 緊急電話等の特殊な電話番号以外は、IP電話へ発信します。詳細は「13.6 回線選択テーブル」をご参照ください。
- 「5555」の4桁発信は、IP電話およびISDN回線へ発信できません。
- 「回線選択テーブル」に登録した電話番号は、ISDN回線へ発信します。
- 「186(通知)」「184(非通知)」を相手先電話番号の最初に付加して発信した場合、「発信者番号通知」の設定よりも優先します。
- ISDN回線への直接発信は、本機接続前と同じ条件で発信者番号通知が可能です。
- 発信先で非課金ガイダンス等をご利用の際、冒頭で数秒間可聴できませんのでご注意ください。



## ワンポイント

- 本機をIP電話専用としてご利用される場合、設定スイッチ1(ISDN回線発信)をON(禁止)に設定してください。

## 10.1 IP 電話やISDN 回線に発信できない電話番号

下記電話番号は、機能設定用となっていますので、IP電話やISDN回線に発信できません。

本機の機能設定

5555 (本機の設定に使用)

# 11 その他の機能

## 11.1 更新機能

ファームウェア(本機を制御するプログラム)をダウンロードして装置のバージョンアップする機能です。

本機は周期的にファームウェアのバージョンを弊社ファームウェア管理用サーバーに自動的に問い合わせるバージョンの確認をします。必要があれば、ファームウェアの更新をお客様にお知らせするために本機更新ランプが点滅(0.5秒間点灯・0.5秒間消灯)します。

更新ランプが点滅しましたら、本機前面の更新スイッチを押しますと、自動的に弊社ファームウェア管理用サーバーに接続して最新ファームウェアに更新します。



### 注意

- 更新ランプ点灯中は、絶対電源を切らないでください。故障の原因となります。
- 通信及び通話中は、更新機能を使用しないでください。正常に通信や通話できません。
- 更新機能をご利用中に、ISDN回線より着信があった場合は、通話途中で切断されます。

## 11.2 停電時のとき

状態	動作
停電になったとき	使用中の通話は切れます。
停電中	IP通話は出来ませんが、ISDN回線とPBXを直結しますので、停電対応PBXの場合はISDN回線で通話が可能です。
停電復旧時	停電対応PBXの場合、使用中の通話は切れます。



### 注意

- ご利用されている停電対応PBXの種類やバージョンにより上記の動作をしないことがあります。その場合、PBXの主電源を一旦オフにしてからオンにしてご利用ください。
- 「停電が発生」または「停電から復旧」した場合、PBXによってはご使用できるまでに約1~2分かかることがあります。
- 停電中は、S/Tコネクタに接続したISDN機器は使用できません。
- PBX-U点に接続したPBXがP-P接続で使用している場合、停電中は使用できません。

## 11.3 設定初期値

本機的全設定を初期化するには、次の手順で行ってください。

1. 本機の電源を切った状態で背面の初期化スイッチを絶縁された細いピンで押します。
2. 初期化スイッチを押したまま、本機の電源を入れます。
3. 本機のステータスランプが点灯するまで初期化スイッチを押し続けます。
4. ステータスランプが点灯しましたら初期化スイッチを離します。
5. これで、設定していた内容が初期化(工場出荷値)されます。

# 12 故障かな？と思ったとき

## 12.1 電話がかかけられない

こんなとき	原因	確認／処置
電話がかかけられない	回線コードを正しく接続している？	正しく確実に差し込んでください。
ISDN回線へかけられない	設定？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web設定で「高度な設定」→「VoIP—回線選択テーブルの設定」→「回線選択テーブル」を確認してください。</li> <li>・「0000+電話番号」で発信してください。(0000:初期値)</li> </ul>
IP電話が使えない	設定？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web設定で「VoIP—基本設定」→「IP電話利用」の有効／無効を調べてください。</li> <li>・Web設定で「高度な設定」→「VoIP—回線選択テーブルの設定」→「回線選択テーブル」を確認してください。</li> </ul>
	IP電話ランプ消灯？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VoIPサーバーへの登録が完了していない。設定か接続をご確認ください。</li> <li>・IP電話が使えていたのに、今はIP電話ランプが消灯している。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.接続の確認をしてください。</li> <li>2.ADSLモデム等・電話回線・ISP等の確認をしてください。</li> </ol>
	WANランプ消灯？	ADSLモデム等や接続ケーブルに問題があります。ADSLモデム等の説明書でご確認ください。
	PPPランプ点滅？	PPP接続ができません。PPPの再接続するまでしばらくお待ちください。
電源ランプがつかない	電源プラグが抜けている？	正しく確実に差し込んでください。
	電源スイッチがOFF？	電源スイッチをONにしてください。
	本機が故障？	PBX-U点とISDN-U点を直結していますのでそのままISDN回線ではご利用できます。
INSランプが点滅	ISDN-Uコネクタのケーブルが抜けている？	正しく確実に差し込んでください。
	外線使用不可の状態？	ISDN回線を調べてください。
	ISDN-Uで極性が異なる？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISDN外線リバーススイッチを変更してください。</li> <li>・ISDN-U用ケーブルをストレートからクロスに変更してください。</li> </ul>

こんなとき	原因	確認／処置
PBXランプが点滅	PBXと接続するU点ケーブルが抜けている？	正しく確実に差し込んでください。
	PBXが故障？	PBXを調べてください。
	PBX-Uで極性が異なる？	・ISDN回線リバーススイッチを変更してください。 ・PBX-U用ケーブルをストレートからクロスに変更してください。
	PBX-UコネクタにISDN機器のU点以外を接続？	PBX-UコネクタにISDN機器のU点を接続してください。
ステータスランプが常時点滅(1秒周期)	ファームウェアが異常？	更新スイッチを押してください。ファームウェアを更新します。
ステータスランプが消灯	ファームウェアが異常？	本機のリセットスイッチを押してください。その後、正常に動作しなければ弊社にご連絡ください。
更新,PPP,IP 電話ランプ共点滅	ファームウェアの異常？	本機のリセットスイッチを押してください。
通話中ではないのにランプが全点灯	本機が故障？	本機が異常の場合は、本機の電源スイッチをOFFにしてください。PBX-U点とISDN-U点を直結しますので、そのままISDN回線ではご利用できません。

## 12.2 その他

こんなとき	原因	確認／処置
通話中に切れる／通話音質が悪い	通信が混み合っている？	通話中に通信が混み合うと音質が悪くなったり、切れることがあります。しばらくしてからお掛け直してください。

## 12.3 お問い合わせ

上項で問題が解決できない場合は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせの際には、以下をご準備ください。

- ・Web設定画面を確認できるパソコンと本機を接続するためのLANケーブル。  
(接続の際には「7 パソコン側を設定するには」をご参照ください。)
- ・本機の製造番号(本機底面に記載しています)。
- ・故障の時期(設置時？利用中？使用期間？)。
- ・故障内容の詳細。

# 13 ご参考

## 13.1 本機通話に関するランプと識別音について

通話状態は、下記表にてランプと識別音でご確認ください。

	本機の状態	使用回線	ダイヤル時 識別音	ランプ		
				PPP	IP 電話	電話1・電話2 (通話中)
導 入 時	結線完了 (電源 OFF 状態、停電時)	ISDN	なし	消灯	消灯	消灯
	電源 ON (工場出荷状態)	ISDN	なし	消灯	消灯	消灯
	PPP 設定完了*1 (VoIP 未設定状態)	ISDN	なし	点灯	消灯	消灯
	VoIP サーバー登録失敗 (IP 電話ランプ点滅)	ISDN	ピピ*3	点灯	点滅2**2	消灯
	VoIP サーバー登録成功 (IP 電話ランプ点灯)			点灯	点灯	消灯
運 用 中	VoIP サーバー登録済み					
	VoIP サーバー無応答	ISDN**3	ピピ*3	点灯	点滅2**2	消灯
	IP 電話接続拒否	ISDN	なし	点灯	点灯	消灯
	IP 電話から IP 電話	IP	ドミソ*4	点灯	点灯	点灯
	IP 電話から一般電話	IP	ドミ*4	点灯	点灯	点滅2**2
	“0000”+電話番号	ISDN	なし	点灯	点灯	消灯
	ISDN 回線選択テーブル	ISDN	なし	点灯	点灯	消灯
	電源 OFF 又は停電時	ISDN	なし	消灯	消灯	消灯

※1 PPP 設定の出来ていない場合は、IP 電話登録や VoIP 通話はできません。

※2 点滅2とは、0.5秒間点灯し0.5秒間消灯します。

※3 IP 電話サービスを何らかの障害がある場合は、Web 設定で「かんたん設定」→「VoIP - 基本設定」→「一般電話再発信」→「有効」の場合、発信のとき受話器から「ピピ」と聞こえてから、ISDN 回線へ発信します。「一般電話再発信」→「無効」の場合は、発信のとき受話器から「ピピ」と聞こえてから、ビジー音（話中音）が聞こえて発信できません。

※4 Web 設定で「かんたん設定」→「VoIP - 基本設定」→「識別音通知」→「有効」の場合、発信のとき受話器から「ドミソ」等の識別音が聞こえます。「識別音通知」→「無効」の場合、識別音はありません。



### 注意

- PPP、IP 電話、更新ランプ共が0.25秒間点灯し0.25秒間消灯している場合は、一切通話が出来ません。本機のリセットスイッチを押してください。
- 緊急電話等の特殊な電話番号は、直接ISDN回線へ発信します。
- 「0000」+電話番号をダイヤルした場合は、直接ISDN回線へ発信します。

## 13.2 INS ネット64 (ISDN) の付加サービスについて

ISDN付加サービスのご利用の際は、「0000」を最初に付加してください。

サービス名称	可否	サービス名称	可否
フレックスホン(キャッチホン)	×	INSボイスワープ/INSボイスワープセレクト	○
フレックスホン(通信中転送)	×	INSなりわけサービス	○
フレックスホン(三者通話)	×	INSナンバー・リクエスト	○
フレックスホン(着信転送)	×	INSメンバーズネット	○
i・ナンバー	○	迷惑電話おことわりサービス	○
ダイヤルイン	○	でんわばん	○
サブアドレス	○	二重番号サービス	○
発信者番号通知	○	空いたらお知らせ159	○
INSナンバー・ディスプレイ	○	代表取扱サービス*1	○
ネーム・ディスプレイ	○	オフトーク通信	×
Lモード	○		
INSマジックボックス	△		

○： 本機で利用できる「INS ネット64」の付加サービスです。(但し、接続するISDN機器がサービスに対応していて、主に付加サービスの契約が必要です。)

△： 転送機能のみ利用できます。

×

\*1： INS ネット64付加サービスの発信専用制御(「インタフェース単位制御モード」)の契約が必要です。

## 13.3 IP 電話の付加サービスについて (2006年1月現在)

サービス名称	可否	サービス名称	可否
ダイヤルイン*1	△	一般加入電話番号によるIP-IP着信	○
代表番号通知/基本契約番号通知*1	△	代表サービス	○
電話会議サービス	○		

○： 本機で利用できる付加サービスです。(オプション契約が必要なサービスがあります。)

△： 着信が可能です。

\*1： 電話番号を接続PBXへ直接通知しませんが、本機の着信番号通知設定によりIP網からの着信を接続PBXの着信方法に合わせることが出来ます。設定方法は、「8.6 着信番号通知を設定する」をご参照ください。

## 13.4 電話機からの設定一覧

PBXの電話機より本機の設定番号(5555)にて発信した後に下記設定一覧のダイヤル操作で設定が可能です。設定は、自動保存されますので電源を切っても設定は消えません。設定の変更を行うと以前の設定に対して上書きされます。

設定項目	ダイヤル入力	概要
代表組	1*40 [初期値] 1*41	代表組を使用しない 代表組を使用する

## 13.5 電話機からの操作一覧

設定項目	ダイヤル入力	概要
本機の設定	5555	本機の設定に使用



### 注意

- 「5555」(4 桁発信限定)を押し、「発信ボタン」を押して「ツツツ...」の音の後で「ツー」の音に変わる事を確認してください。
- プリフィックス番号に「5555」を登録しますと正常に発信動作しません。「5555」を登録しないように御願います。

## 13.6 回線選択テーブル（初期値）

2006年1月現在

No	番号	発信先	No	番号	発信先
1	10x	ISDN	51	09802	VoIP
2	11x	ISDN	52	01x0	ISDN
3	12x	ISDN	53	02x0	ISDN
4	13x	ISDN	54	03x0	ISDN
5	14x	ISDN	55	04x0	ISDN
6	15x	ISDN	56	05x0	ISDN
7	16x	ISDN	57	06x0	ISDN
8	17x	ISDN	58	07x0	ISDN
9	180	ISDN	59	08x0	ISDN
10	181	ISDN	60	09x0	ISDN
11	182	ISDN	61	020	ISDN
12	183	ISDN	62	030	ISDN
13	185	ISDN	63	040	ISDN
14	187	ISDN	64	060	ISDN
15	188	ISDN	65	01x	VoIP
16	189	ISDN	66	02x	VoIP
17	19x	ISDN	67	03x	VoIP
18	0120	ISDN	68	04x	VoIP
19	0130	ISDN	69	05x	VoIP
20	0140	ISDN	70	06x	VoIP
21	0150	ISDN	71	07x	VoIP
22	0160	ISDN	72	08x	VoIP
23	0170	ISDN	73	09x	VoIP
24	0180	ISDN	74	0033	VoIP
25	0190	ISDN	75	000x	ISDN
26	0450	ISDN	76	001x	ISDN
27	0570	ISDN	77	002x	ISDN
28	0750	ISDN	78	003x	ISDN
29	0800	ISDN	79	004x	ISDN
30	0990	ISDN	80	005x	ISDN
31	0220	VoIP	81	006x	ISDN
32	0240	VoIP	82	007x	ISDN
33	0250	VoIP	83	008x	ISDN
34	0260	VoIP	84	009x	ISDN
35	0270	VoIP	85		
36	0280	VoIP	86		
37	0460	VoIP	87		
38	0470	VoIP	88		
39	0480	VoIP	89		
40	0550	VoIP	90		
41	0740	VoIP	91		
42	0770	VoIP	92		
43	0790	VoIP	93		
44	0820	VoIP	94		
45	0880	VoIP	95		
46	0920	VoIP	96		
47	0930	VoIP	97		
48	0940	VoIP	98		
49	0950	VoIP	99		
50	0980	VoIP	100		

※ 上記表は、IP電話サービスプロバイダーのサービス変更により自動的に変更されることがあります。

## 13.7 主な仕様

項目		サービス内容
P B X 側	適用回線	INSネット64 (ISDN)
	インタフェース構造	2B+D(基本インタフェース)ピンポン方式(音声のみサポート)
	インタフェース形態 及びレイヤ1起動種別	P-MP常時、P-MP呼毎、P-P
	回線接続コネクタ	6pinモジュージャック(RJ11)
	供給電圧	約59V(無負荷時)
I S D N 側	適用回線	INSネット64 (ISDN)
	インタフェース構造	2B+D(基本インタフェース)ピンポン方式
	インタフェース形態 及びレイヤ1起動種別	P-MP常時(P-MP呼毎と接続可、P-P接続不可)
	回線接続コネクタ	6pinモジュージャック(RJ11)
	バス配線接続コネクタ(S/T点)	ISO8877準拠 8pinモジュージャック(RJ45) 給電あり
利用通信サービス	INSネット64 (ISDN)   伝送速度:64kbps×2ch	
W A N 側	プロトコル	PPPoE、PPP
	インタフェース	IEEE 802.3/802.3u/802.3x準拠(10/100BASE-T/TX)
	ポート数	1ポート
	接続コネクタ	8pinモジュージャック(RJ45)
	その他	10/100Mbps自動認識、Full/Half Autonegotiation機能
L A N 側	インタフェース	IEEE 802.3/802.3u/802.3x準拠(10/100BASE-T/TX)
	ポート数	4ポート
	接続コネクタ	8pinモジュージャック(RJ45)
	その他	10/100Mbps自動認識、Full/Half Autonegotiation機能、 Auto MDI/MDI-X機能
V O I P 機能	呼制御プロトコル	SIP
	音声圧縮方式	G.711(64kbps)、G.729A(8kbps)
	エコーキャンセラー機能	G.168準拠 8~32ms
	その他機能(QoS)	ゆらぎ吸収、優先制御、パケット損失補完機能、帯域制御
そ の 他	装備	状態表示LED×14、折り返し試験機能付きDSU内蔵(切り離し可能)、Web設定 U点(極性切り替え機能有り)、停電時PBX-U点ISDN-U点直結機能
	操作部	電源スイッチ、DSU切り離しスイッチ、INS64極性切替スイッチ、S/T点終端スイッチ 設定初期化スイッチ、装置リセットスイッチ 更新スイッチ
	電源   商用電源	AC100V±10%(50/60Hz)
	サービスコンセント	300W AC100V
	添付品	電源コード、取扱説明書、LANケーブル(ストレート)、ユーザー登録カード
	消費電力	約10W
	外形寸法	250mm(W)×152mm(D)×64mm(H)
	質量	約1.3kg
	使用環境	温度0~40℃ 湿度20~80%(但し結露なきこと)

※仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

# 株式会社 アレクソン

お問い合わせ先 サポートセンター 伊丹 ☎072-780-1101  
受付時間：月曜～金曜 9:20～12:00・13:00～17:00  
(祝祭日、年末年始、弊社休日を除く)  
<http://www.alexon.co.jp/>



本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは、堅くお断りします。  
本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

2008.04.01  
TIM2076E